

平成27年度

全国道路利用者会議事業報告

【27年】
4月
8日 新聞編集幹事会
10日 監査
23日 理事会（東海大学
友会館）
15月
12日 新聞編集幹事会
19日 第67回定時総会（砂
防会館別館「シェーン・パ
ツハ・サポー」／参加者
数350名・要望活動
19日 正副会長会議
6月
4日 新聞編集幹事会
7月
9日 新聞編集幹事会
8月
4日 新聞編集幹事会
10日 「道の日」

19月
2日 平成28年度道路関係
予算概算要求概要説明会
8日 新聞編集幹事会
18日 理事会（東海大学
友会館）
10月
7日 新聞編集幹事会
22日 第65回全国大会（臨
時総会）（新潟県）／参加
者数1,000名
22日～23日 道路視察（新
潟県・長野県）
11月
5日 安心・安全の道づく
りを求める全国大会開催
（日比谷公会堂）／参加者
数2,000名・要望活動
11日 新聞編集幹事会
12月
9日 新聞編集幹事会
【28年】
4月
8日 監査
22日 理事会（東海大学
友会館）
15月
18日 第68回定時総会（砂
防会館別館「シェーン・パ
ツハ・サポー」／参加者
数2,000名・要望活動
10日 「道の日」
9月
2日 平成29年度道路関係
予算概算要求概要説明会
16日 理事会（東海大学
友会館）
10月
20日 第66回全国大会（臨
時総会）（広島県）
20日～21日 道路視察（広

平成28年度

全国道路利用者会議事業予定

【28年】
4月
8日 監査
22日 理事会（東海大学
友会館）
15月
18日 第68回定時総会（砂
防会館別館「シェーン・パ
ツハ・サポー」／参加者
数2,000名・要望活動
10日 「道の日」
9月
2日 平成29年度道路関係
予算概算要求概要説明会
16日 理事会（東海大学
友会館）
10月
20日 第66回全国大会（臨
時総会）（広島県）
20日～21日 道路視察（広



振

平成28年4月1日か
ら、首都圏の新たな高速
道路料金がスタートし
た。

首都圏の高速道路の料金は、整備の
経緯などにより、路線毎に決定した料
金体系をつなぎ合わせたものとなっ
ていたことから、料金水準や車種区分等
が路線や区間によって異なること、圏
央道経田よりも都心部経田の方が安く
なるなど経路による差異が生じている
こと、他より高い料金水準の路線、管
理主体が異なる路線を跨ぐ際のターミ
ナルチャージなどの課題があった。

これらの課題を解決するため、平成
27年1月27日に社会資本整備審議会道
路分科会 国土幹線道路部会において
示された、高速道路を中心とした「道
路を賢く使う取組」の基本方針に沿っ
て実現したものである（一部暫定措置
も含む）。

主なものとして、①料金水準につい
ては、圏央道を含むその内側の高速道
路の渋滞等の課題に対して、圏央道や外

ICTを活用し道路を賢く使う

路の料金水準を、「高速自動車国道の
大都市近郊区間」の水準に統一し、車
種区分については、5車種区分とし、
高速自動車国道の車種間比率に統一し
た。従来2車種だった首都高、3車種
だった京葉道など、すべて5車種区分
となった。ただし料金水準については、
当面、首都高速、埼玉外環などについ
ては、物流への影響や非ETC車の負

環道の利用を促すために、ETC車の
場合には、出発地から目的地まで、ど
の経路で利用しても、起終点間の最短
距離の料金（当面は料金体系の整理・
統一における激変緩和措置を考慮し、
最安値の料金）となった。なお、首都
高速経田の料金の方が高い場合には、
首都高速経田で走行しても料金は引下
げず、走行経路ごとの料金になる。

また、首都高速の交通分散を図るた
め、都心部を発着し放射高速道路を利
用するETC車が、東京外環道をI
CT間のみ迂回利用した場合であって
も、利用者の負担が増えないよう、東
京外環道の料金を全額割引く外環道
迂回割引も導入された。

前述の高速道路を中心とした「道路
を賢く使う取組」の基本方針において、

「高速道路ネットワークの構築が進展
する一方で、これまでに整備され、既
に利用されている道路の機能が十分に
発揮されていないこともあり、渋滞や
事故等の社会的な損失が生じている。
このため、財政的・空間的な制約下に
おいてこれに対応するにあたっては、
今ある道路の運用改善や小規模な改良
等により、道路ネットワーク全体とし
てその機能を時間的・空間的に最大限
に発揮させる「賢く使う取組」が重要
である。」と述べられている。

ゴールデンウィーク期間高速道路渋滞予測
下り線は5月3日(火)～4日(水)
上り線は5月3日(火)～5日(木)
がピークに！

高速道路各社等によれ
ば、ゴールデンウィークの
渋滞は、下り線は5月3日
(火)～4日(水)に、上り線
は5月3日(火)～5日(木)
にピーク時10km以上の渋滞
が多く発生すると予測して
いる。出発時間を渋滞ピー
クが予想される時間帯の前
後にずらすなど、渋滞を避
けた利用を。

- 《詳しい渋滞情報はホームページで》
○日本道路交通情報センター
http://www.jartac.or.jp/
○NEXCO 東日本
http://www.driveplaza.com/
○NEXCO 中日本
http://www.c-nexco.co.jp/
○NEXCO 西日本
http://www.w-nexco.co.jp/
○JB 本四高速
http://www.jb-honshi.co.jp/

【第1 道路交通の安全】
交通事故死者数の15年ぶ
りの増加や安全運転義務違
反に起因する死亡事故の割
合が相対的に高くなってい
ることなどから、本計画の
目標を達成し、世界一安全
な道路交通を実現していく
ためには、これまでの対策
の深化とともに、日々進歩
する交通安全に資する先端
技術や情報の活用を一層促
進していくことが重要。

【第2 鉄道交通の安全】
①乗客の死者数ゼロを目指
す。②運転事故全体の死者
数減少を目指す。
【対策】
①重大な列車事故の未然防
止②利用者等の関係する事
故の防止
【対策の柱】
①鉄道交通環境の整備②鉄
道交通の安全に関する知識
の普及③鉄道の安全な運行
の確保④鉄道車両の安全な
確保等
【第3 踏切道における交
通の安全】
【目標】
踏切事故件数を平成27年と
比較して約1割削減するこ
とを目指す。
【対策】
それぞれの踏切の状況等を
勘案した効果的対策の推進
【対策の柱】
①踏切道の立体交差化、構
造の改良及び歩行者等立体
横断施設の整備の促進②踏
切保安設備の整備及び交通
規制の実施等
【第4 海上交通の安全】
【目標】
①我が国周辺で発生する船
舶事故数を少なくとも
2,000隻未満とする。
②ふくそう海域における
衝突・乗船事故の発生率
(通航隻数100万隻当た
り76隻以下)を維持確保、
大規模海難の発生数をゼロ
とする。③救助率95%以
上とする。
【対策】
【対策の柱】
①ヒューマンエラーによる
事故の防止②ふくそう海域
における大規模海難の防止
③旅客船の事故の防止④人
命救助体制及び自己救命対
策の強化
【第5 航空交通の安全】
【目標】
①本邦航空運送事業者が運
航する定期便について、死
亡事故発生率及び全損事故
発生率をゼロにする。②航
空事故発生率及び重大イン
シデント発生率に関する14
の指標で直近5年間の実績
の平均値について年率7%
の削減を図る。
【対策】
【対策の柱】
①航空安全対策の深化・高
度化②航空需要増への対応
及び安全維持・向上の一体
的推進③新技術・産業発展
に伴う安全行政の新たな展
開

第10次国土基本計画案作成

平成28年3月11日に開催
された中央交通安全対策会
議において、第10次交通安
全基本計画（計画期間：平
成28年度～平成32年度）が
作成された。
《計画の基本理念》
人優先の交通安全思想の
下、道路交通事故死者数に
ついては、過去最悪時の4
分の1以下にまで減少し
た。
より高い目標を掲げ、今
後なお一層の交通事故の抑
止を図るためには、従来の
施策の深化はもとより、先
端技術を積極的に取り入れ
た新たな時代における対策
に取り組んでいく。また、
公共交通等の安全対策にも
一層取り組んでいく。
これにより、交通事故の
ない社会の実現への大きな
飛躍と世界をリードする交
通安全社会を目指す。